

平成29年度当初予算の概要および主要事業

第2次燕市総合計画「3つの人口増戦略」
目標達成に向けて取組を深化させます



目 次

1. 予算編成のポイント、予算の規模	1
2. 一般会計歳入予算のポイント	2
3. 一般会計歳出予算のポイント	3
4. ふるさと燕応援寄附金の活用方法	4
5. 第2次燕市総合計画「3つの人口増戦略」と今年度の深化ポイント	5
6. 戦略体系図	6
〔戦略1〕定住人口増戦略	1 2
〔戦略2〕活動人口増戦略	2 1
〔戦略3〕交流・応援（燕）人口増戦略	2 6
〔戦略4〕人口増戦略を支える都市環境の整備	2 8
〔行財政〕持続可能な行財政運営	3 5

《予算編成のポイント》

第2次燕市総合計画の2年目となる平成29年度の一般会計当初予算は、地方創生の取組をさらに深化させるための重要な年度です。

そのため、産業振興をはじめ、出産・子育て支援、スポーツ交流の拠点化など総合計画の戦略体系に基づく各種人口増に関する施策を優先して予算化しました。

また、借換債を除く実質的な予算規模は、前年度比で縮小していますが、国の補正予算の財源を最大限活用した平成28年度補正予算（繰越事業）と合すると前年度を上回る予算規模となっています。

Plan

第2次燕市総合計画に基づく3つの人口増戦略とそれを支える都市環境の整備に関する施策に対し、重点的に予算を配分しました。

総合計画における戦略の4本柱

戦略1. 定住人口増戦略

戦略2. 活動人口増戦略

戦略3. 交流・応援（燕）人口増戦略

戦略4. 人口増戦略を支える都市環境の整備

Do

平成29年度予算編成に反映

事業の効果的な実施で地方創生を深化
「日本一輝いているまち」を目指します！

《予算の規模》

-1-

会計名	予算額	対前年度増減額	前年度比
一般会計	382億1,100万円 (317億4,304万円)	▲4億 300万円 (▲28億9,109万円)	▲1.0% (▲8.3%)
特別会計	国民健康保険	87億6,679万円	▲4億7,546万円 ▲5.1%
	後期高齢者医療	7億5,395万円	▲5,231万円 ▲6.5%
	介護保険事業	87億6,575万円	4億3,878万円 5.3%
	公共下水道事業	33億7,465万円	▲3億7,818万円 ▲10.1%
	土地取得	7,017万円	▲1億 858万円 ▲60.7%
合計	599億4,230万円 (534億7,434万円)	▲9億7,876万円 (▲34億6,684万円)	▲1.6% (▲6.1%)

* 平成29年度一般会計当初予算と併せて
国の平成28年度補正予算分として **34億7,804万円** を計上

一般会計		予算額
平成29年度当初予算		382億1,100万円
平成28年度補正予算（繰越事業）		34億7,804万円
内訳	東部学校給食センター建設事業	20億1,626万円
	吉田北小学校大規模改造事業	8億6,140万円
	旧燕工業高校校舎第3棟（空手練習場他）整備事業	2億 867万円
	臨時福祉給付金、須頃郷排水対策等その他	3億9,171万円
合計		416億8,904万円

※（ ）は借換債を除いた実質的な予算額等です。

※ 千円以下を切捨てて記載してあるため合計額と一致しない場合があります。

一般会計『歳入予算』のポイント

-2-

歳入の総額は382億1,100万円です。（市債の借換債を除く実質的な予算規模は317億4,304万円です）

歳入の中でも、市税は、法人市民税が税率の引下げ等の影響により減少するも、景気の穏やかな回復基調の継続による個人市民税の増や家屋の新・増築などによる固定資産税の増により、8,521万円（0.8%）の微増を見込んでいます。

その他自主財源においては、ふるさと燕応援寄附金が市特産のお礼の品をさらに充実したことで、寄附額が堅調に推移していることから、前年度同額の6億円を見込んでいます。（関連4ページ）

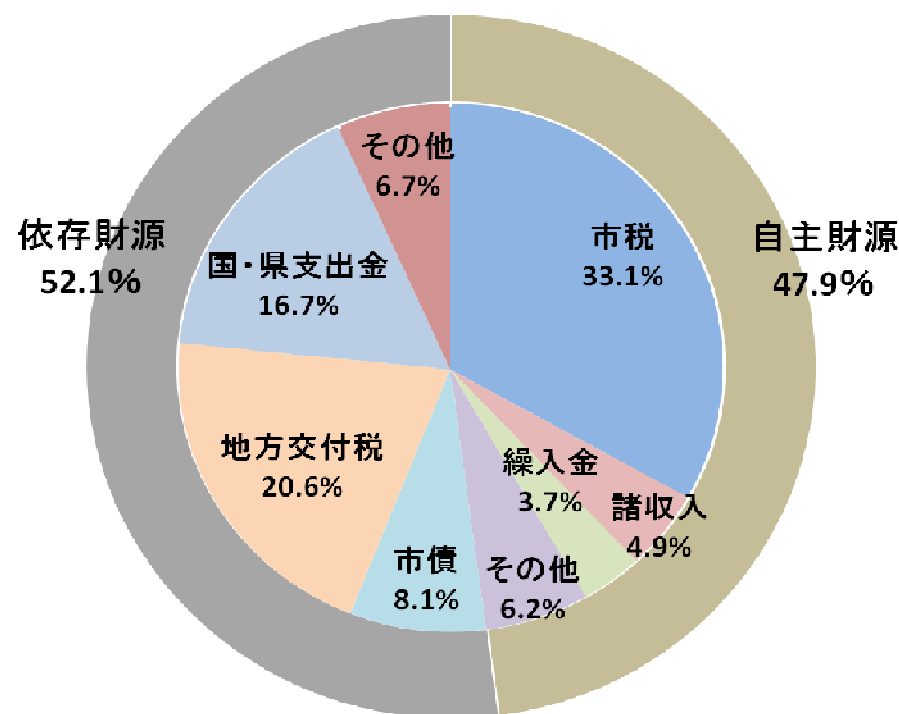
市債については、東部学校給食センター等の大規模事業を平成28年度の国補正予算の財源を活用し前倒しで実施することにしたため、借換債を除く実質的な予算額が21億8,780万円（46.0%）の大幅な減少となっています。

地方交付税については、合併による財政優遇措置期間の終了による段階的な交付額の縮減の影響から、3,000万円（0.5%）の減少を見込んでいます。

平成29年度 歳入（収入）の内訳

区 分		予 算 額	対前年度増減額	前年度比
自主財源	市 税	105億 409万円	8,521万円	0.8%
	諸 収 入	15億5,338万円	▲2億7,290万円	▲14.9%
	繰 入 金	11億8,766万円	▲1億 742万円	▲8.3%
	そ の 他	19億5,609万円	▲3,570万円	▲1.8%
依存財源	市 債	90億3,786万円 (25億6,990万円)	3億 29万円 (▲21億8,780万円)	3.4% (▲46.0%)
	地方交付税	65億4,000万円	▲3,000万円	▲0.5%
	国・県支出金	52億8,621万円	▲9,724万円	▲1.8%
	そ の 他	21億4,571万円	▲2億4,524万円	▲10.3%
合 計		382億1,100万円 (317億4,304万円)	▲4億 300万円 (▲28億9,109万円)	▲1.0% (▲8.3%)

「実質的な予算規模」の財源割合



※（ ）は借換債を除いた実質的な予算額等です。

※ 千円以下を切捨てて記載してあるため合計額と一致しない場合があります。

一般会計『歳出予算』のポイント

-3-

歳出の総額は、382億1,100万円です。（公債費の借換債を除く実質的な予算規模は317億4,304万円です）

民生費は燕西児童クラブ改修事業の完了などにより、1億5,495万円（1.6%）の減少となっていますが、性質別の扶助費については、障がい者・児介護給付費の増などにより1億8,306万円（3.7%）の増加となっています。

土木費は須頃郷排水対策事業が完了年度を迎え事業費が減少したことにより、4億5,926万円（10.0%）の減少となっているものの、地域から要望の高い道路・側溝・排水路等の維持補修費の予算については、国の財源である社会資本整備総合交付金の活用を図りながら、増額しています。

教育費については、東部学校給食センター建設事業及び吉田北小学校大規模改造事業を平成28年度の国補正予算の財源を活用し前倒しで実施することにしたため、11億8,084万円（28.6%）の減少となっています。また、ふるさと燕応援寄附金から子ども夢基金に積み立てた財源を活用し、学校等施設整備や図書等の備品充実を図ります。

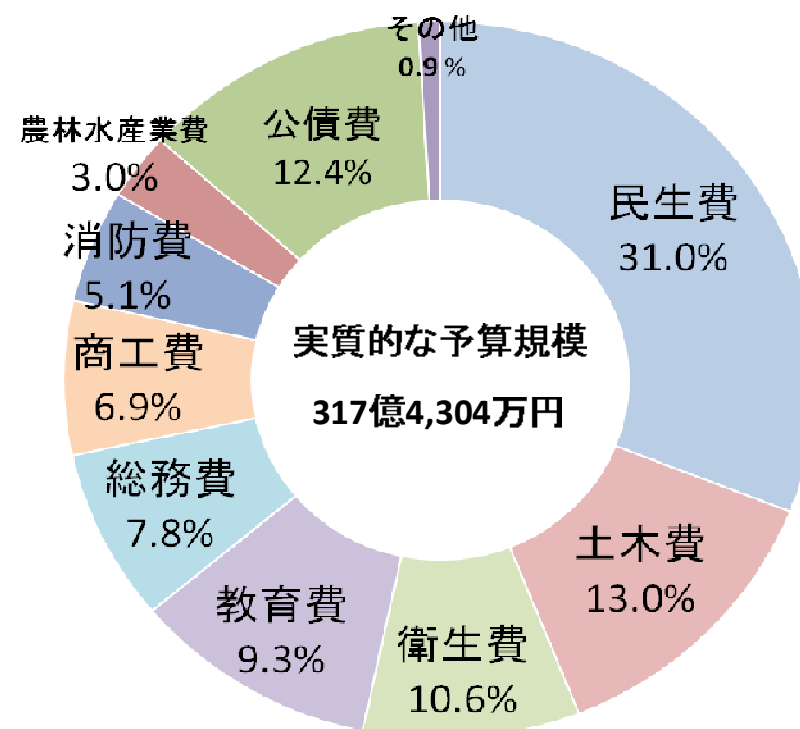
平成29年度 歳出（支出）の内訳

区 分	予 算 額	対前年度増減額	前年度比
民 生 費	98億3,383万円	▲1億5,495万円	▲1.6%
土 木 費	41億2,950万円	▲4億5,926万円	▲10.0%
衛 生 費	33億5,550万円	6,560万円	2.0%
教 育 費	29億5,424万円	▲11億8,084万円	▲28.6%
総 務 費	24億6,270万円	▲5億6,327万円	▲18.6%
商 工 費	22億 713万円	▲4億8,774万円	▲18.1%
消 防 費	16億1,759万円	128万円	0.1%
農林水産業費	9億5,489万円	▲8,400万円	▲8.1%
公 債 費	104億 442万円 (39億3,646万円)	25億 607万円 (2,299万円)	31.8% (0.6%)
そ の 他	2億9,120万円	▲5,090万円	▲14.9%
合 計	382億1,100万円 (317億4,304万円)	▲4億 300万円 (28億9,109万円)	▲1.0% (▲8.3%)

※（ ）は借換債を除いた実質的な予算額等です。

※ 千円以下を切捨てて記載してあるため合計額と一致しない場合があります。

「実質的な予算規模」の費目別割合



ふるさと燕応援寄附金にご協力いただいた皆さんへ特産品をお礼の品としてプレゼントすることで本市の魅力を発信してきた結果、全国からたくさんの応援をいただいております、前年度と同額の6億円を見込んでいます。

第2次燕市総合計画においても交流・応援（燕）人口増戦略の一つに位置づけ、引き続き魅力ある特産品を贈呈することで本市の魅力を発信するとともに、交流促進に発展すべく取組を展開していきます。

ふるさと燕応援寄附金は、寄附者の意向に沿いながら「日本一輝いているまち」を実現するための重点施策や新規施策の財源として活用させていただきます。

ふるさと燕応援寄附金の活用事例

1. 未来の子どもたちのため
2. 産業に関すること
3. 教育に関すること
4. 福祉に関すること
5. 環境に関すること
6. 燕市の魅力発信に関すること
7. 市長にお任せ

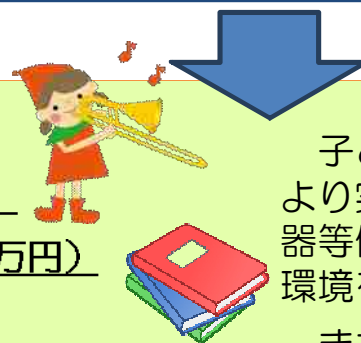
次ページ以降の「3つの人口増戦略」に基づく主要事業の財源として活用します。

必要に応じて事業を拡充したり、新規に取り組む際の財源として活用します。

ふるさと燕応援寄附金から積み立てた『子ども夢基金』を活用し、子どもたちの学習環境の整備などの事業を実施します。

子どもたちのために、様々な事業に活用！

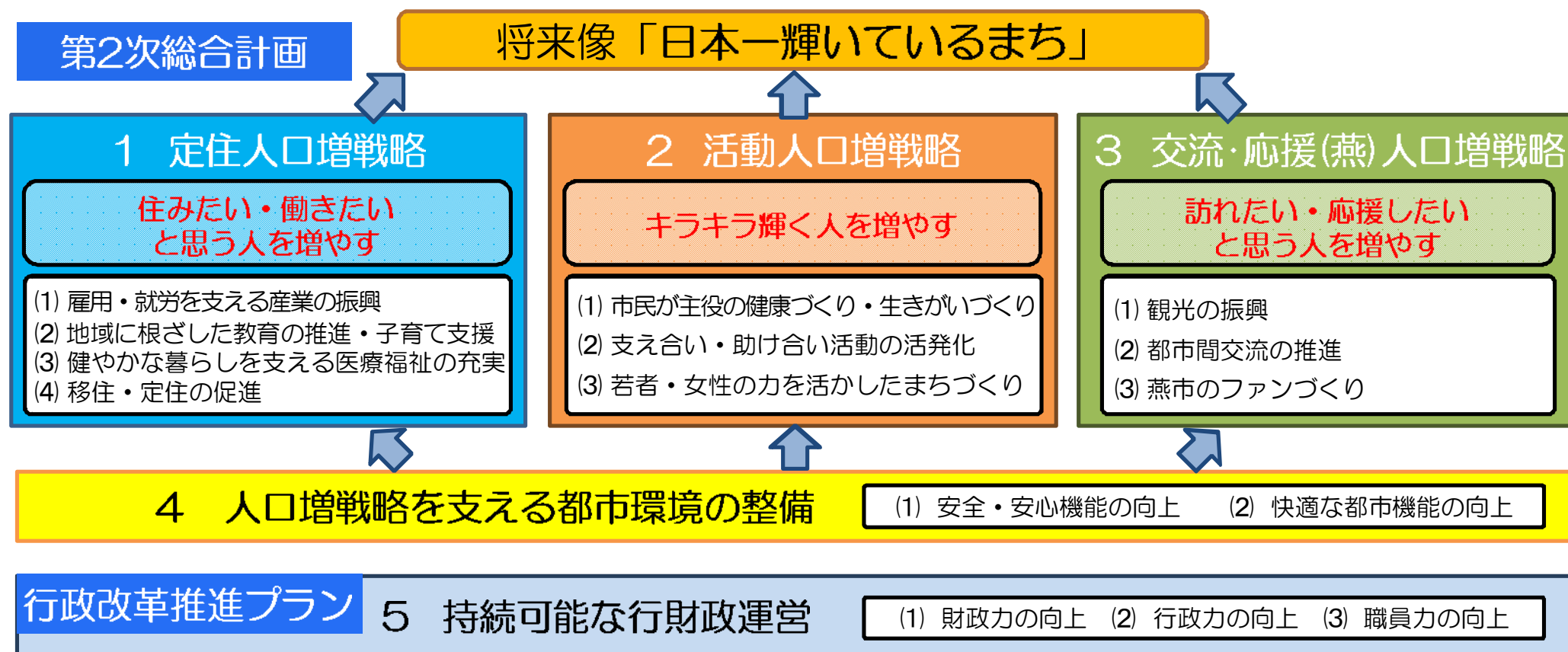
1. 学校管理費〔小中学校・楽器等備品購入〕（1,200万円）
2. 小学校整備事業〔小池小外壁防水工事など〕（3,646万円）
3. 中学校整備事業〔燕北中屋上避難階段改修工事など〕（800万円）
4. 学校図書館充実事業（1,230万円）
5. 体育施設管理運営費〔吉田テニスコート人工芝張替工事など〕（3,270万円）
6. スポン野球場付帯施設整備事業（2,408万円のうち1,204万円）



※ 次ページ以降、**子ども夢基金**を参照

子どもたちの豊かな心を育み、学校生活をより実りあるものとするため、小中学校の楽器等備品、学校図書及び施設整備などの学習環境を整備します。

また、体育施設の整備工事を行い、施設の充実を図ることで、スポーツを通じた子どもたちの夢の実現への環境を整えます。



今年度の深化ポイント

第2次総合計画の2年目に当たり、3つの人口増戦略が掲げる目標に向かって、取組を深化させていきます

人口の自然増を目指して 出産・子育て支援

妊娠や子育てのさまざまな不安を解消し、安心して子どもを産み育てられるように、**不妊治療費助成**や**産後ケア**を充実します
【関連事業 17ページ】

人口の社会増を目指して 仕事づくり・人づくり

地域産業の持続的成長を誘発するため、**企業とクリエイター、学生等とのマッチング**や**次世代の経営人材の育成**を進めます
【関連事業 12,13ページ】

活動・交流人口増を目指して スポーツ交流の拠点化

全国規模の大会や合宿を誘致し、**スポーツを通じた交流**を促進するとともに、その効果が**地域経済へ波及**するような取組を進めます
【関連事業 22ページ】

1 定住人口増戦略【その1】

-6-

【戦略】		【施策】	【主要事業】	【ページ】
1 定住人口増戦略				
【基本方針】				
(1)雇用・就労を支える産業の振興		①ものづくり産業の活性化	④ つばめ東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト ④ デザインコンクール事業 ⑧ つばめ産学協創スクエア事業 ⑧ ネクストリーダーズ事業 ④ 企業立地活性化事業 ○ 次世代産業育成支援事業 ○ 新商品新技術開発支援事業	12
		②新たな産業育成・創業の支援	④ つばめ創業支援事業 ○ ローカルイノベーション創出事業 ○ 燕青空即売会共催事業 ○ 商店街活性化事業 ○ まちなかにざわい創出支援事業（ツバメルシェ開催事業）	13
		③変化に対応する農業の振興	⑧ 若手農業者ステップアップ事業 ⑧ 農商工連携ビジネス創出支援事業 ④ チャレンジ・ファーマー支援事業	14
(2)地域に根ざした教育の推進・子育て支援		①知・徳・体を育成する教育の推進	④ Jack&Bettyプロジェクト ○ 新潟大学教育学部とのパートナーシップ事業 ○ 中学生学力向上対策プロジェクト ④ GoodJobつばめ推進事業 ○ つばめキッズファーム事業 ④ 燕ジュニア検定事業 ○ 長善館学習塾事業 ○ 燕キャプテンミーティング事業 ④ ICT教育推進事業 ○ 学校図書館充実事業	15
(3)健やかな暮らしを支える医療福祉の充実（次頁）		②安心して産み育てられる子育て支援（次頁）	⑧ 学校不応・ひきこもり相談事業 ④ スクールソーシャルワーカー派遣事業 ④ 子どもを育む推進事業 ○ 羽ばたけつばくろ応援事業 ○ 学校・地域連携促進事業 ○ 地域に根ざす学校応援団事業 ④ 吉田北小学校大規模改造事業 ⑧ 粟生津小学校大規模改造事業 ④ 東部学校給食センター建設事業	16
(4)移住・定住の促進（次頁）				
⑧ =新規事業 ④ =拡充事業 ④ =臨時的事業				

1 定住人口増戦略【その2】

-7-

【戦略】

1 定住人口増戦略

【基本方針】

(1)雇用・就労を支える
産業の振興（前頁）

(2)地域に根ざした教育
の推進・子育て支援

(3)健やかな暮らしを
支える医療福祉の充実

(4)移住・定住の促進

【施策】

①知・徳・体を育成
する教育の推進（前頁）

②安心して産み育てら
れる子育て支援

①地域で支える高齢者
福祉

②障がいのある人への
切れ目のない支援

①移住・定住希望者
へのサポート強化

【主要事業】

【ページ】

- ① 産後ケア事業
- 妊産婦医療費助成事業
- ① 一般不妊治療費助成事業
- 特定不妊治療費助成事業
- ② 第2次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画策定事業
- 子ども医療費助成事業
- 病児・病後児保育運営事業
- 男女の出会いサポート事業

17

- ① 介護予防・日常生活支援総合事業（住民主体による支援事業）
- ① 認知症高齢者等見守り事業
- ② 認知症総合支援事業（認知症初期集中支援準備事業）
- 在宅医療・介護連携推進事業
- 地域包括ケアシステム構築推進事業
- 介護人材確保育成事業（介護職員研修費等助成事業）

18

- ② 療育支援体制構築事業
- 障がい者基幹相談支援センター機能強化事業
- ② 燕市障がい者基本計画・第5期燕市障がい福祉計画策定事業
- 障がい児通所支援事業
- ペットボトルリサイクル推進事業[詳細は30頁]
- 小型家電リサイクル推進事業[詳細は30頁]

19

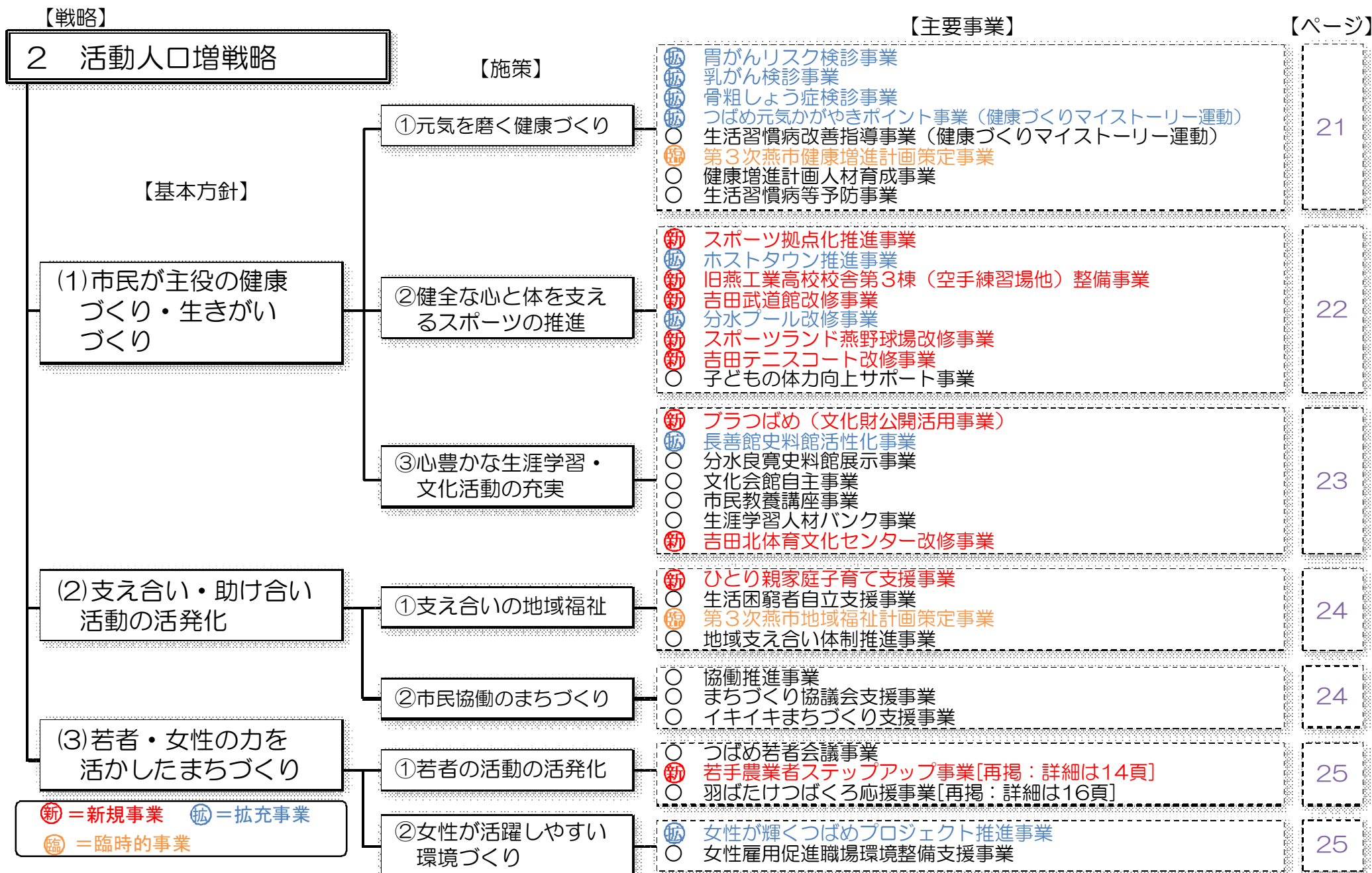
- ② つばめ移住・定住促進事業
- 東京つばめいと事業
- 移住家族支援事業
- 定住家族支援事業

20

① = 新規事業 ② = 拡充事業
③ = 臨時的事業

2 活動人口増戦略

-8-



3 交流・応援（燕）人口増戦略

-9-

【戦略】

3 交流・応援（燕）人口増戦略

【主要事業】

【ページ】

【基本方針】

【施策】

(1) 観光の振興

① 着地型観光の振興

- 新 観光動向調査事業
- 拡 地域資源活用活性化事業（地域おこし協力隊）
- 拡 産業観光受入体制整備事業
- 新 つばめ情報発信戦略事業
- 新 産業史料館リノベーション事業
- 拡 産業史料館企画展開催事業（史料館活性化計画）
- 新 千眼堂吊橋修繕事業
- 県央大橋西詰周辺地域整備事業

26

(2) 都市間交流の推進

① 都市交流・広域連携の推進

- 新 新潟広域都市圏推進事業
- 燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン推進事業
- 都市交流連携事業
- スワローズカップ少年野球交流事業

27

(3) 燕市のファンづくり

① イメージアップ・ふるさと応援

- 臨 燕市ガイドブック作成事業
- 拡 ふるさと燕応援事業
- イメージアップ燕推進事業

27

新 = 新規事業 拡 = 拡充事業
臨 = 臨時的事業

4 人口増戦略を支える都市環境の整備【その1】

-10-

【戦略】

4 人口増戦略を支える都市環境の整備

【基本方針】

(1) 安全・安心機能の向上

【施策】 ①災害に強いまちづくり

- 【主要事業】
- 臨 洪水・土砂災害ハザードマップ作成事業
 - 新 新堤防構築事業（大曲62号線他道路改良事業）
 - 須頃郷排水対策事業
 - 臨 防災教育充実事業
 - 地域防災組織育成支援事業

【ページ】

28

②防犯・消費者保護 対策の推進

- 防犯カメラ設置補助事業
- 消費生活相談窓口事業

28

③交通安全の推進

- 交通安全指導強化事業
- 高齢者運転免許自主返納支援事業

29

④公共交通の整備

- 循環バス運行事業（スワロー号・やひこ号）
- 臨 循環バス休日運行社会実験事業（スワロー号）
- 予約制乗合ワゴン車運行事業（おでかけきららん号）
- 民間バス路線運行補助事業

29

⑤快適な環境の確保

- 新 福服BOOK事業（資源回収・子育て支援連携事業）
- カンカンBOOK事業（資源回収・子育て支援連携事業）
- ペットボトルリサイクル推進事業（資源回収・障がい者就労支援連携事業）
- 小型家電リサイクル推進事業（資源回収・障がい者就労支援連携事業）
- 環境美化推進イベント事業
- つばめエコキッズ探検隊プロジェクト

30

(2) 快適な都市機能の向上

①まちなか居住と 空き家等対策の推進

- 臨 立地適正化計画策定事業
- 空き家等対策連絡協議会事業
- 空き家等実態調査事業
- 臨 空き家等活用対策事業
- 臨 空き家・空き地活用バンク事業

31

②③④⑤（次頁）

新 = 新規事業 臨 = 臨時的事业
 臨 = 臨時的事业

4 人口増戦略を支える都市環境の整備【その2】

-11-

【戦略】	【施策】	【主要事業】	【ページ】
4 人口増戦略を支える都市環境の整備			
【基本方針】			
(1)安全・安心機能の向上 (前頁)	①まちなか居住と空き家等対策の推進 (前頁)	④ 燕市交通公園整備事業 ④ 吉田ふれあい広場整備事業 ④ 国上健康の森公園整備事業 ○ 大河津分水さくら公園整備事業 ○ 「想いを形に」かがやきベンチ事業	32
(2)快適な都市機能の向上	②親しみのある公園づくり		
	③人にやさしい道路環境の整備	④ 広域6号線歩道整備事業 ④ 廿六木中央通線踏切拡幅歩道整備事業 ④ 寺郷屋灰方線白歩道整備事業 ○ 灰方幹線他歩道整備事業 ④ 側溝修繕事業 ○ 下水路整備事業 ○ 道路維持修繕事業 ④ 国道116号吉田バイパス整備促進協議会事業 ○ 橋梁定期点検事業	33
	④安全・安心・おいしい水道水の供給	④ 浄水場施設再構築事業 ○ 石綿セメント管更新事業	34
	⑤適正な汚水処理の推進	○ 公共下水道整備（未普及対策）事業 ○ 公共下水道早期接続促進事業 ④ マンホールカード作成事業 ○ 本町排水区管路施設改築更新（長寿命化）事業 ○ 下水道終末処理場施設改築更新（長寿命化）事業	34

5 持続可能な行財政運営

5 持続可能な行財政運営			
	○財政力の向上 ○行政力の向上 ○職員力の向上	④ ペーパーレス会議推進事業 ○ 業務改善推進事業 ○ 公営住宅ストック総合改善事業 ○ 公営住宅跡地利活用事業 ④ 公共施設予防保全事業 ④ 窓口配布用封筒広告導入事業 ○ 地方公営企業法適用事業 ○ 地方公会計整備事業	35

④ = 新規事業 ④ = 拡充事業
④ = 臨時的事業

1-(1)-① ものづくり産業の活性化

-12-

【ねらい】

- ①ものづくり産業の活性化を図るため、新たな市場に向けた販路開拓を支援します。
- ②産業の高付加価値化を目指した新産業を育成し、競争力の強化を図ります。
- ③後継者・技術者の育成を行うとともに、経営力や競争力の向上のための取組を支援します。

産地産業ブランド化の推進

【拡】つばめ東京オリンピック・
パラリンピックプロジェクト
【予算額】12,244千円

官民共同で2020年東京オリンピック・
パラリンピックの開催を契機にした燕ブ
ランド発信事業を実施します。

◆燕製品のプロモーション力強化等



【担当課】商工振興課

【拡】デザインコンクール事業
【予算額】6,753千円

地域ブランドの構築を目的に、金属洋食
器などを対象としたコンペを開催します。
若手クリエイターなどの優れたアイデアを
募集し、地域企業とのマッチングにより商品
化を目指すコンペを開催します。

◆ジャパン・ツバメ・インダストリアル
デザインコンクール

◆若monoアイデア
コンペティション燕



【担当課】商工振興課

ものづくり人材の育成強化

【新】つばめ産学協創スクエア事業
【予算額】12,481千円

ものづくりに関心のある学生等と燕の企業とを
マッチングするための実践的なインターンシップ
を展開します。また、産業界主体による拠点整備
も行います。

◆短期・長期インターンシップ事業の実施

◆産業界と連携した拠点施設の整備促進

【担当課】商工振興課

【新】ネクストリーダーズ事業
【予算額】676千円

地域企業経営の難易度が高まる
中、事業の成長をリードできる
次世代経営人材を育成します。

◆セミナーの開催

【担当課】商工振興課



新分野参入・販路開拓支援

○次世代産業育成支援事業
【予算額】7,575千円

金属洋食器や金属ハウスウェア製造で培ってき
た金属加工技術を活用し、医療機器産業の育成を
図ります。

◆コーディネーターの設置

◆医療機器研究会への支援

【担当課】商工振興課



○新商品新技術開発支援事業
【予算額】16,957千円

付加価値の高い新商品新技術の開発経費
や新分野進出等の研究・活動経費の一部を
補助します。

◆開発支援 補助率 2/3以内 上限 300万円

【担当課】商工振興課

【ねらい】

- ①創業に対しての支援策を充実し、熱意と意欲のある人にとって「創業しやすいまち・燕」を目指します。
- ②地域産品のPRを通じた卸売業等の活性化を図ります。
- ③商工会議所・商工会などと連携して、商店・商店街への効果的な支援を行います。

創業支援

☎ つばめ創業支援事業

【予算額】 6,450千円

経営ノウハウ、資金調達などをパッケージで支援し、小売・サービス業などの創業を促進します。

- ◆創業講座の開催
 - ◆創業活性化支援補助金
未利用店舗賃借料の1/3以内
上限3万円/月
 - ◆創業支援資金利子補給金
金融機関支払利子(2%以内)
対象期間 3年以内
 - ◆創業者向け市Webサイト特別枠の設置
- 【担当課】 商工振興課



○ ローカルイノベーション創出事業

【予算額】 7,441千円

市内企業の技術力と学生やものづくりに対する感度の高い人たちの発想力を結びつけることで、ローカルイノベーションを促進させ、付加価値の高い新たな製品が生み出される土壌を創出します。

- ◆地元企業、エンジニア、クリエイター、学生などを巻き込んだ共創型イベント「TSUBAME HACK!」の開催
 - ◆DIY工房とのコラボイベントの開催
 - ◆IoTセミナーの開催
- 【担当課】 商工振興課



卸売業の活性化

○ 燕青空即売会共催事業

【予算額】 1,000千円

燕産地製品の破格ビッグバザール「燕青空即売会」の開催を支援し、地域産品のモノの流れを活発化させ、卸売業や物流業の活性化を促進します。

- ◆開催日 10月1日(日)
 - ◆場 所 燕市物流センター内
- 【担当課】 商工振興課



商店・商店街の活性化

○ 商店街活性化事業

【予算額】 1,750千円

小売商業・商店街の魅力向上に取り組む団体・個人を支援します。

- ◆「200mいちび」の共催
 - ◆未利用店舗活用に対する助成
 - ◆小売店舗新改装設備に対する助成
- 【担当課】 商工振興課



○ まちなかにぎわい創出支援事業（ツバメルシェ開催事業）

【予算額】 3,256千円

地元商店などが出店する「ツバメルシェ」を開催し、個店の魅力や商品・サービスなどを広くPRすることで、市内商業の振興を図ります。

- ◆開催回数 6回
- 【担当課】 商工振興課



【ねらい】

- ①農業所得向上を目指し、新たな取組にチャレンジする農業経営者（担い手・生産組織等）を積極的に支援します。
- ②明日の農業を担う意欲ある農業経営者の育成に努めます。

担い手の育成・確保

新 若手農業者ステップアップ事業

【予算額】999千円

マーケティングに特化した学習の機会を提供し、農産物の付加価値向上や複合営農等により農業所得向上を目指すとともに、農業者同士または異業種との交流を通じて、これからの地域農業を支える若手農業者を育成します。



- ◆マーケティング勉強会等の開催
- ◆若手・女性農業者ネットワークの構築

【担当課】農政課

農商工連携

新 農商工連携ビジネス創出支援事業

【予算額】2,000千円

新たなビジネスチャンスへの取組を促進するため、商工業者と連携し農業所得向上に意欲ある農業者が行う、新商品開発等に要する経費の一部を補助します。



- ◆開発支援・販路拡大支援
- 補助率2/3以内 上限 100万円

【担当課】農政課

魅力ある農産物の生産拡大

拡 チャレンジ・ファーマー支援事業

【予算額】14,000千円

農力アップチャレンジ

農産物の付加価値向上、農業経営の複合化等の取組に新たにチャレンジするための事業費の一部を補助します。

- ◆一般枠 補助率 1/3以内 上限 50万円
- ◆若手枠 補助率 1/3以内 上限100万円
(対象：45歳未満)



環境保全・土づくりチャレンジ

もみ殻等の有機資源を水田に還元（環境保全）し、土づくりにチャレンジするための機械購入費の一部を補助します。

- ◆補助率 1/3以内 上限 15万円



コスト低減チャレンジ

水稻の直播栽培に新たにチャレンジするための機械購入費の一部を補助します。

- ◆補助率 1/2以内 上限 60万円



高度水田管理チャレンジ

高度な水管理が可能な水田整備にチャレンジするための機械購入費の一部を補助します。

- ◆補助率 1/3以内 上限 100万円

【担当課】農政課

1-(2)-① 知・徳・体を育成する教育の推進【その1】

-15-

【ねらい】

- ①学ぶ意欲を高め、確かな学力を培う特色ある教育により、グローバルな人材を育成します。
- ②郷土を愛する心を培い、体験を通して豊かな心や社会性を育みます。

外国語教育の推進と確かな学力の育成

● Jack & Bettyプロジェクト

【予算額】 37,202千円

国際理解を深め、英語教育の一層の充実・推進を図ります。

- ◆ Jack & Betty教室(対象を小学5年生から4年生へ拡充)
- ◆ English Summer Camp(宿泊研修)
- ◆ 英語スピーチコンテスト
- ◆ 親善大使海外派遣事業 等

【担当課】 学校教育課



○ 新潟大学教育学部とのパートナーシップ事業 ○ 中学生学力向上対策プロジェクト

【予算額】 829千円

指導力の向上を図るため、担当教員研修の開催や新潟大学との連携を推進します。

【担当課】 学校教育課

未来を切り拓く力を育むキャリア教育の推進

● Good Jobつばめ推進事業

【予算額】 4,513千円

中学校で実施する職場体験を3年間で3日間から5日間に拡充し、未来を切り拓き自立して生きていく力を育みます。

【担当課】 学校教育課



○ つばめキッズファーム事業

【予算額】 1,500千円

小学校の子どもたちが大豆栽培や味噌づくり、米づくり等の農業体験を通じて農業の面白さを学ぶ活動を支援します。

【担当課】 学校教育課



● 燕ジュニア検定事業

【予算額】 520千円

燕ジュニア検定問題集の改訂準備を進め、子どもたちの郷土への理解と愛着を深めます。

【担当課】 学校教育課

○ 長善館学習塾事業

【予算額】 822千円

小学6年生を対象に宿泊体験や特別講師による学習、防災キャンプ、ビデオ制作等を通して長善館の精神を受け継ぐ、リーダーを育成します。

【担当課】 学校教育課



学ぶ意欲を高める教育の推進

● ICT教育推進事業

【予算額】 87,834千円

ICT機器を活用した教育を推進するため、市内小中学校にデジタルテレビ等の提示装置の導入を推進します。

【担当課】 学校教育課



子ども
夢基金

○ 学校図書館充実事業

【予算額】 18,436千円

蔵書の充実により児童生徒の読書活動や調べ学習の推進を図ります。

- ◆ 蔵書の充実
- ◆ 学校図書館司書業務嘱託員の配置
- ◆ システムを活用した蔵書管理

【担当課】 学校教育課



○ 燕キャプテンミーティング事業

【予算額】 620千円

中学1,2年生を対象に講演やグループワークを通じて思考力や創造力、コミュニケーション能力を備えたリーダーを育成します。

【担当課】 学校教育課



1-(2)-① 知・徳・体を育成する教育の推進【その2】

-16-

【ねらい】

- ①すべての子どもたちが安全・安心な環境で学べるよう、教育環境の整備・充実を図ります。
- ②目標や夢を持った若者の活動を支援し、次代を担う人材を育成する取組を推進します。
- ③地域社会の中で子どもたちが健やかに育つ環境づくりに努めます。

安心して学べる教育環境の整備

新 学校不適應・ひきこもり相談事業

【予算額】 3,037千円

不登校と若者のひきこもりの相談体制を一本化し、中学校卒業後も継続的に支援を受けられるように相談業務を強化します。

【担当課】 学校教育課



拡 スクールソーシャルワーカー派遣事業

【予算額】 1,244千円

不登校等の悩みを抱える家庭や学校へのスクールソーシャルワーカーの派遣日数を増やし、問題の解決を促します。

【担当課】 学校教育課



拡 子どもを育む推進事業

【予算額】 1,703千円

人と人との「絆」をテーマに小中学校児童生徒の交流や保護者を対象とした講演等を開催し、いじめや不登校の未然防止・解消につながる社会性を育みます。

【担当課】 学校教育課



小学校改修事業

拡 吉田北小学校大規模改造事業

【H28繰越予算額】 861,400千円

【事業期間】 平成28～29年度

◆普通教室棟等改造工事

新 栗生津小学校大規模改造事業

【予算額】 13,000千円

【事業期間】 平成29～30年度

◆設計業務委託

【担当課】 学校教育課



拡 東部学校給食センター建設事業

【H28繰越予算額】 2,016,255千円

【事業期間】 平成25～29年度

◆建築工事

【担当課】 学校教育課



○ 学校・地域連携促進事業

【予算額】 5,000千円

学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む体制を構築するため、助成金（1校あたり上限25万円）を交付します。

【担当課】 学校教育課

若者の活動支援

○ 羽ばたけつばくろ応援事業

【予算額】 1,079千円

社会貢献や夢の実現に向けて活動する若者を支援するため、補助金を交付します。

◆補助対象

個人 高校生～20歳

団体 小中学生～20歳

◆補助金額

全額補助

個人 1件あたり上限10万円

団体 1件あたり上限25万円

【担当課】 学校教育課



地域と連携した 魅力と活力ある教育の推進

○ 地域に根ざす学校応援団事業

【予算額】 11,395千円

地域コーディネーターを配置し、地域のボランティアや放課後学習支援ボランティアによる学校支援の取組を充実します。

【担当課】 学校教育課



1-(2)-② 安心して産み育てられる子育て支援

-17-

【ねらい】

- ①妊娠を望む夫婦への支援強化や母子保健の充実など、健やかに子どもを産み育てることができる環境づくりを推進します。
- ②晩婚化・未婚化を解消するための一助として、関係団体と連携しながら男女の出会いを総合的にサポートします。
- ③保育環境の充実を図りながら、子どもを育てることと働くことの両立を支援します。

母子保健の充実

新 産後ケア事業

【予算額】 776千円

産後の不安を減らし、母子ともに健やかな生活を送れるよう、体調に関するケアや育児の指導・サポートを行います。

◆対象者

産後3か月未満の産婦及び乳児

◆実施方法

医療機関での宿泊
又はデイサービス



【担当課】 健康づくり課

妊娠を望む夫婦への支援

新 一般不妊治療費助成事業

【予算額】 3,552千円

一般不妊治療（人工授精・タイミング法）の費用の一部を助成します。

◆助成率 自己負担額の1/2

◆上限額 1年度につき10万円(通算5年度まで)

○ 特定不妊治療費助成事業

【予算額】 3,642千円

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）の費用の一部助成の他、妊活を応援する講座等を開催します。

◆助成率 自己負担額の1/2

◆上限額 1回の治療につき8万円

【担当課】 健康づくり課



保育環境の充実

臨 第2次燕市幼稚園・保育園 適正配置実施計画策定事業

【予算額】 ゼロ予算

少子化により園児数が減少する一方で多様化する保育ニーズなどへ対応するため、保育サービスの在り方や幼稚園・保育園の適正配置などを定めた「第2次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画」を策定します。



【担当課】 子育て支援課

○ 妊産婦医療費助成事業

【予算額】 20,496千円

医療費の心配なく安心して出産ができるように、妊産婦が負担する医療費を全額助成します。



【担当課】 保険年金課

きめ細やかな子育て支援

○ 子ども医療費助成事業

【予算額】 224,993千円

子育て世代の経済的負担を軽減するため、中学校卒業までの子どもの医療費を一部助成します。

【担当課】 保険年金課

○ 病児・病後児

保育運営事業

【予算額】 19,407千円

病気の児童を小児科医院に併設した保育施設で預かります。

【担当課】 子育て支援課

男女の出会い支援

○ 男女の出会い サポート事業

【予算額】 948千円

出会いイベントの実施や「出会い応援団」などによる縁結び活動を支援します。

【担当課】 地域振興課

【ねらい】

- ①介護が必要になった人でも住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように、地域包括ケアシステムの構築を進めます。
- ②必要な介護サービスが受けられる体制を整えるため、介護人材の確保に努めます。

高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり

新 介護予防・日常生活支援総合事業 (住民主体による支援事業)

【予算額】2,009千円

地域住民が主体となって要介護者の生活を支援できる体制を構築するため、住民ボランティアによる訪問・通所サービスの立ち上げ・運営を支援します。

- ◆生活支援コーディネーターの配置
- ◆サービスの立ち上げ・運営費用の助成



【担当課】長寿福祉課

拡 認知症総合支援事業 (認知症初期集中支援準備事業)

【予算額】7,000千円

認知症の方やその疑いのある方が早い段階で専門家による支援を受けられる体制づくりを進めます。

- ◆認知症地域支援推進員の配置
- ◆認知症初期集中支援チームの立ち上げ準備

【担当課】長寿福祉課

新 認知症高齢者等見守り事業

【予算額】172千円

地域での認知症高齢者等の見守りを強化するため、行方不明者がいるときに地域住民にメールで情報提供を行います。

【担当課】長寿福祉課

○ 在宅医療・介護連携推進事業

【予算額】16,961千円

在宅での医療と介護の一体的な提供ができるよう、多職種の協働を推進します。

- ◆相談受付及び情報提供
- ◆講演会等による普及啓発



【担当課】長寿福祉課

○ 地域包括ケアシステム構築推進事業

【予算額】1,918千円

介護が必要な人でも住み慣れた地域で生活できるよう、医療、介護、介護予防、生活支援等が一体的に提供される仕組みづくりを進めます。

- ◆地域ケア推進会議の開催
- ◆福祉・介護関係職員のスキルアップ研修の実施

【担当課】長寿福祉課



介護サービス提供体制の整備

○ 介護人材確保育成事業 (介護職員研修費等助成事業)

【予算額】3,300千円

介護人材の確保を図るため、介護資格取得のための研修費用の一部を助成します。

- ◆対象 介護事業所に雇用されている人など
- ◆助成率 研修費用の1/2
- ◆上限額 初任者研修7万円
実務者研修8万円
介護福祉士資格登録1万円



【担当課】長寿福祉課

【ねらい】

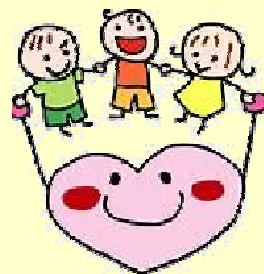
- ①個々の障がい者の生き方に応じた多様な支援ニーズに対応するため、相談支援の充実と安定を図ります。
- ②障がい児に対する保育・保健・教育・福祉の連携を強化して、切れ目のない支援体制の構築を目指します。

ライフステージに応じた相談支援体制の強化

●療育支援体制構築事業 【予算額】4,764千円

発達障がい等の療育支援の必要な子どもとその家族が、ライフステージの移行期にも切れ目のない支援を受けられるよう、支援の連携体制の構築に取り組みます。

- ◆関係機関同士でつながり
のある支援体制づくり
- ◆対象者のライフステージ
を見据えた関係機関の連
携のサポート



【担当課】社会福祉課

パステルカラーの子ども

○障がい者基幹相談支援センター 機能強化事業 【予算額】55,060千円

障がい者基幹相談支援センターを中心として、相談支援専門員の資質向上の仕組みをつくり、支援対象者のライフステージに応じた関係者間の有効な連携体制の構築を図ります。

- ◆相談支援事業所間の連携強化
- ◆相談支援専門員の資質向上
- ◆一体的相談支援体制の整備



【担当課】社会福祉課

日常生活に対する支援

○障がい児通所支援事業 【予算額】104,606千円

障がい児に必要な訓練や交流の促進など、児童・生徒にあったサービスを行うことで生活能力の向上を図ります。

- ◆児童発達支援
対象：未就学の障がい児
- ◆放課後等デイサービス事業
対象：小学校・中学校・高校に
就学している障がい児

【担当課】社会福祉課

障がい者福祉施策の推進

●燕市障がい者基本計画・第5期燕市障がい福祉計画策定事業 【予算額】2,216千円

障がいのある人もない人も住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる社会の実現を目指し、ニーズ把握と課題克服に向けた施策の具体化のため、新たに計画を策定します。

【担当課】社会福祉課



障がい者の就労に向けた支援

資源回収・障がい者就労支援連携事業

- ペットボトルリサイクル推進事業
- 小型家電リサイクル推進事業

【詳細は30ページ】

【担当課】生活環境課



【ねらい】

- ①U・I・Jターンの希望者に対して、暮らしや仕事などニーズに沿った情報提供を行い、燕市への移住を促進します。
- ②子育て世代や若者等の転入者に対し、燕市での住宅取得を支援することで定住化を図ります。

移住・定住の促進

● 移住・定住促進事業

【予算額】 11,098千円

新たに地域おこし協力隊を採用し、燕市への移住等に関する情報を広く発信するとともに、移住希望者へのサポートを行うことで、U・I・Jターンの促進します。

また、都市住民のニーズを調査し、燕市が移住先として選ばれるようになるための具体策を検討していきます。

◆都市住民を対象としたモニターツアーの試行

- ◆移住・定住総合相談窓口の運営
- ◆移住セミナーやふるさと回帰フェア等でのPR
- ◆首都圏の大学のキャリアセンターと連携したU・I・Jターンの促進と市内企業の情報提供



【担当課】 地域振興課

○ 東京つばめいと事業

【予算額】 6,941千円

首都圏在住の燕市出身の若者による交流組織「東京つばめいと」の運営を行い、出身者の郷土に対する愛着を育みます。

また、東京つばめいとの会員に対し、燕市の暮らしや仕事の情報を配信し、Uターン就職を希望する人と市内企業とのマッチングを支援します。

- ◆東京つばめいと交流会の開催
- ◆市内企業と首都圏在住の学生等が交流するワークショップの開催
- ◆つばめいく(地域を再発見するプロジェクト)の支援
- ◆東京つばめいとウェブサイトの充実



【担当課】 地域振興課

住宅取得に対する支援

○ 移住家族支援事業

【予算額】 42,000千円

市外から燕市に転入し、住宅を新たに取得する子育て世代等へ住宅取得費の一部を助成します。

- ◆助成金額(転入向け)
上限100万円



【担当課】 都市計画課

○ 定住家族支援事業

【予算額】 16,000千円

都市計画用途地域内に住宅を新たに取得する子育て世代等へ住宅取得費の一部を助成します。

- ◆助成金額(市内転居向け)
上限50万円

【担当課】 都市計画課

2-(1)-① 元気を磨く健康づくり

-21-

【ねらい】

- ①疾病の早期発見・早期治療のため各種健（検）診や保健指導の充実に努めます。
- ②食生活・運動など総合的な健康づくりの推進に取り組み、市民それぞれに合った健康づくりを展開します。

健（検）診の充実

● 胃がんリスク検診事業

【予算額】 5,846千円

胃部バリウム検診の実施に加え、**胃がん発見率の高い血液検査（ABC検診）の対象者を拡大**します。

- ◆対象者 40、45、50、55、60、65、70歳の市民（65、70歳は国民健康保険加入者のみ）

【担当課】 保険年金課・健康づくり課

● 乳がん検診事業

【予算額】 17,318千円

乳がん発見率の高い**マンモグラフィ検診の実施対象者を拡大**します。

- ◆対象者 40歳以上の女性

【担当課】 健康づくり課

● 骨粗しょう症検診事業

【予算額】 3,028千円

これまでの検診と結果説明会に加え、新たに**予防相談会を実施**します。

- ◆対象者 40、45、50、55、60、65、70歳の市民

【担当課】 健康づくり課



市民が主役の健康づくり

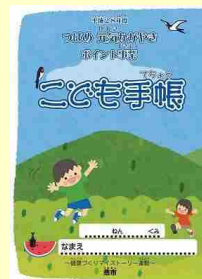
健康づくりマイストーリー運動

● つばめ元気ががやきポイント事業

【予算額】 3,857千円

市民の健康行動の習慣化のため、いつでも・気軽に・自分のペースで健康づくりに取り組める運動を展開します。

- ◆**こども手帳の対象学年の拡大**
- ◆**健康づくりスタート・サポート企業の拡充**



○ 生活習慣病改善指導事業

【予算額】 2,011千円

生活習慣病のハイリスク者を対象に、生活習慣病にかかわる各種検査と生活習慣の改善指導を行います。

【担当課】 健康づくり課

● 第3次燕市健康増進計画策定事業

【予算額】 458千円

市民が主体的に自分にあった健康づくりに取り組み、健康で生き生きと自分らしい豊かな生活を送れるまちづくりを目指し、第3次燕市健康増進計画を策定します。

【担当課】 健康づくり課



医療費の適正化

○ 生活習慣病等予防事業

【予算額】 5,503千円

生活習慣病の早期発見及び重症化予防のため、各疾患のハイリスク者を対象に受診勧奨や保健指導などを行います。

（国民健康保険加入者が対象）

- ◆脳梗塞再発予防
- ◆慢性閉塞性肺疾患進行予防
- ◆糖尿病性腎症重症化予防
- ◆慢性腎臓病進行予防

【担当課】 保険年金課



○ 健康増進計画人材育成事業

【予算額】 314千円

自分のための健康づくり活動を超え、積極的に地域で健康づくりの意識啓発を行える人材を講座等を通じて育成します。

【担当課】 健康づくり課

2-(1)-② 健全な心と体を支えるスポーツの推進

-22-

【ねらい】

- ①2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機にスポーツを介した交流の拠点化と国際交流を推進します。
- ②子どもたちの運動能力と体力を向上させるとともに、競技力の向上を図ります。
- ③市民のスポーツ活動の充実を図るため、スポーツや運動に親しむことのできる環境の整備に努めます。

スポーツ振興とスポーツを介した交流の推進

●ホストタウン推進事業

【予算額】2,488千円

モンゴル国とのアーチェリーを通じたスポーツ・文化交流やオリンピック等を招いての講習会・講演会の実施により、東京五輪に向けての機運を高めます。

- ◆アーチェリー技術講習会
- ◆異文化交流会
- ◆モンゴル語講座
- ◆オリンピック講演会

【担当課】社会教育課



●スポーツ拠点化推進事業

【予算額】3,356千円

全国規模の大会や合宿を誘致し、スポーツを通じた交流を促進するとともに、拠点化の波及効果促進により経済の活性化を図ります。

- ◆JCYレディースサッカーフェスティバル
- ◆ミズノトラッククラブスポーツ教室
- ◆神宮リトルシニア合宿
- ◆波及効果促進手法の検討

【担当課】社会教育課



子どもの体力向上

○子どもの体力向上

サポート事業

【予算額】914千円

低下傾向にある子どもの体力を向上させるため、小学校の体育授業に専門指導員を派遣し、体力向上サポートプログラム（ヘキサスロン）を実施します。

【担当課】社会教育課



●スポーツランド燕

野球場改修事業

【予算額】24,088千円

【事業期間】平成29年度

- ◆ダッグアウト、バックネット等改修工事



●吉田テニスコート改修事業

【予算額】31,200千円

【事業期間】平成29年度

- ◆人工芝張替・ネットポスト取替工事



スポーツ環境の整備

スポーツ環境整備事業

●旧燕工業高校校舎第3棟（空手練習場他）整備事業

【H28繰越予算額】208,674千円

【事業期間】平成28～29年度

- ◆空手練習場改修工事
- ◆多目的利用のための施設改修工事（屋上防水、消防設備、駐車場等）

●吉田武道館改修事業

【予算額】31,500千円

【事業期間】平成29年度

- ◆排水管の下水道接続
- ◆トイレの洋式化



●分水プール改修事業

【予算額】25,470千円

【事業期間】平成28～29年度

- ◆幼児用プール槽の防水塗装
- ◆プールサイドの改修

【担当課】社会教育課



【ねらい】

- ①ふるさと燕への愛着と誇りを持てる意識の醸成と芸術文化活動の振興を図ります。
- ②学習機会の充実と学習成果の地域への還元を図り、生涯学習社会を支える環境づくりを推進します。

郷土の宝の保護・活用

新 プラつばめ (文化財公開活用事業)

【予算額】148千円

地域の歴史文化を紹介する映像プログラムを制作し公開することで、燕市の魅力を発信するとともに、文化財等の保護意識やふるさとへの誇りと愛着の醸成を図ります。



【担当課】社会教育課

拡 長善館史料館活性化事業

【予算額】2,688千円

展示の充実に向けて、事業コーディネーターの設置や筑波大学との連携事業により作成した**目録の活用、歴代館主の日記の解説作業**などに取り組みます。

【担当課】社会教育課



○ 分水良寛史料館展示事業

【予算額】1,770千円

国指定の重要文化財や寄贈品、館藏品等を中心とした常設展・特別展の開催により、良寛文化の発信に取り組みます。

【担当課】社会教育課



芸術文化活動の振興

○ 文化会館自主事業

【予算額】25,131千円

市民ニーズに対応した優れた舞台芸術作品の提供や市民参加型の舞台芸術により文化振興を図ります。

- ◆市内小学校合同音楽鑑賞会
- ◆燕市文化協会との共催音楽会
- ◆弦楽四重奏音楽会
- ◆つばめ音楽文化祭 等



【担当課】社会教育課

社会教育施設の整備

新 吉田北体育文化センター改修事業

【予算額】5,900千円

【事業期間】平成29～30年度

- ◆設計業務委託
 - ・特定天井耐震
 - ・屋上防水
 - ・トイレ洋式化



【担当課】社会教育課

生涯学習活動の推進

○ 市民教養講座事業

【予算額】2,253千円

教養講座を開催し、その学習成果を市民教養講座フェスティバルで発表します。

【担当課】社会教育課

○ 生涯学習人材バンク事業

【予算額】ゼロ予算

生涯学習の知識や技能を持っている市民を講師として人材バンクに登録し、市民等の求めに応じ自己の学習成果を地域へ還元します。

【担当課】社会教育課



2-(2)-① 支え合いの地域福祉、② 市民協働のまちづくり

-24-

【ねらい】

①地域での「共助」による助け合いの精神を育むとともに、生活困窮者の自立に向けた支援を行います。

②市民参画の意識醸成を図り、市民と行政の両者が協働しやすい環境づくりを推進します。

支え合いの地域福祉

新 ひitori親家庭子育て支援事業

【予算額】1,326千円

児童扶養手当の受給者を対象に、ひとり親家庭等の生活実態や困りごとの具体的なニーズを調査し、支援の課題を把握します。

【担当課】社会福祉課

○ 生活困窮者自立支援事業

【予算額】3,947千円

生活困窮者への支援と指導を行い、社会的・経済的な自立を促します。

- ◆支援計画を踏まえた包括的な支援
- ◆就労に向けた生活習慣の確立
- ◆家計管理に関する助言・指導



【担当課】社会福祉課

臨 第3次燕市地域福祉計画策定事業

【予算額】530千円

市民一人ひとりが地域で様々な関わりを持ち、共に支え合い、助け合いながら、誰もが暮らしやすいまちの実現を目指し、第3次燕市地域福祉計画を策定します。

【担当課】社会福祉課

○ 地域支え合い体制推進事業

【予算額】1,166千円

支援や手助けを必要とする人が地域で安心して暮らすことができるよう、地域の「共助」で支え合える体制づくりを進めます。

- ◆ボランティアによる買い物や散歩、ゴミ出しなどの日常生活の支援
- ◆困りごとの相談や調整
- ◆支え合い体制推進地区の拡大

【担当課】社会福祉課

○ まちづくり協議会 支援事業

【予算額】13,636千円

地域コミュニティの醸成のため、まちづくり協議会に対して運営経費の財政支援と、情報提供や活動相談などの人的支援を行います。

【担当課】地域振興課

市民協働のまちづくり

○ 協働推進事業

【予算額】170千円

まちづくり基本条例の理念に則り、協働を実現させるため、活動気運を醸成する講演やワークショップを通して、市民活動団体同士の交流を促進し、市民と行政の協働を目指します。

あわせて、まちづくり基本条例の改正に向けた準備を行います。



【担当課】地域振興課

○ イキイキまちづくり支援事業

【予算額】3,171千円

市民自らが実施する公益的な活動に対し、事業費の助成や情報提供、広報PRなどの支援を行います。

- ◆助成対象 イキイキまちづくり団体(まちづくりに自発的かつ主体的に取り組む登録団体)
- ◆対象経費 事業の実施に必要な経費
- ◆助成率 4/5～10/10
- ◆助成金額 5万円～30万円



【担当課】地域振興課

2-(3)-① 若者の活動の活発化、② 女性が活躍しやすい環境づくり -25-

【ねらい】

- ①若者が夢への挑戦や地域貢献活動への参画をしやすい環境づくりを行い、若者によるまちづくり活動の活発化を図ります。
②職場環境の整備等により女性の活躍を支援するとともに、男女が互いを尊重する男女共同参画社会の実現を目指します。

女性が活躍しやすい環境づくり

● 女性が輝くつばめプロジェクト推進事業

【予算額】 2,580千円

事業者と協働して、女性が働きやすい職場環境の整備や女性社員の意識啓発に取り組み、女性が輝いて活躍しやすい環境づくりを進めます。

また、働く女性の代表として環境整備等を市へ提言するプロジェクトチーム「活動☆つばめこまち応援隊」の活動を支援します。

- ◆女性の活躍を推進するフォーラムの開催
- ◆女性が輝くつばめプロジェクト協力事業所を対象としたアンケート調査の実施
- ◆異業種男女交流研修(仮称)の実施
- ◆つばめ輝く女性表彰
- ◆イクボス研修会の開催
- ◆女子会トークの拡充・スキルアップ講座の開催



【担当課】 地域振興課

○ 女性雇用促進職場環境整備支援事業

【予算額】 7,500千円

女性が働きやすい職場環境を整備する事業者に整備費用を助成し、事業所の女性雇用の促進を図ります。

- ◆助成対象
市内施工業者に発注した託児所、女性専用トイレ、女性専用更衣室、女性専用休憩室の設置工事費等
- ◆助成金額 助成率1/2以内 上限75万円

【担当課】 商工振興課



若者の活動の活発化

○ つばめ若者会議事業

【予算額】 914千円

若者たちが描いた燕市の将来像「つばめの幸福論」の実現に向けて、主体的な活動を行う若者たちの取組がより活発となるようサポートします。

また、学生を中心とした「燕ジョイ活動部」のプロジェクトを支援し、若い世代のまちづくりへの関心を高めます。

- ◆若者によるプロジェクトの支援
「学び」をテーマとした「つばめの学校」をはじめ、若者たちが取り組む様々なプロジェクトの支援
- ◆ウェブサイト・Facebookを活用した情報発信の支援



【担当課】 地域振興課

新 若手農業者 ステップアップ事業

【再掲14ページ参照】

【担当課】 農政課

○ 羽ばたけつばくろ 応援事業

【再掲16ページ参照】

【担当課】 学校教育課

3-(1)-① 着地型観光の振興

-26-

【ねらい】

- ①産業や自然など地域観光資源を融合して、地域に人を呼び込む着地型観光を積極的に推進します。
- ②交流・応援(燕)人口の拡大を図るため、観光交流拠点の整備など受入体制を整備します。
- ③インバウンド向けのコンテンツを含めた戦略的な情報発信により、国内外からの誘客増加を目指します。

着地型観光の推進

新 観光動向調査事業

【予算額】 4,200千円

観光客の属性や動向、経済効果などを分析し、本市に求められる観光ニーズを把握するための調査事業を実施します。

◆アンケート調査・データ分析 等

【担当課】 商工振興課

拡 地域資源活用活性化事業 (地域おこし協力隊)

【予算額】 8,080千円

地域おこし協力隊を採用し、自然観光や産業観光の推進に取り組みます。

◆道の駅国上を拠点にした地域活動

◆燕三条工場の祭典の事務局スタッフ

【担当課】 商工振興課

拡 産業観光受入体制整備事業

【予算額】 4,000千円

観光客などに本市の産業特性であるものづくり現場工程等を公開するための資料制作費・施設改修費の一部を補助します。

◆見学者用説明資料作成費

補助率 1/2以内 上限 20万円

◆施設改修費

補助率 1/2以内 上限 100万円

【担当課】 商工振興課



インバウンド観光の推進

新 つばめ情報発信戦略事業

【予算額】 4,000千円

おいらん道中などのイベント観光、良寛・国上山などの自然観光、ものづくりの現場を見る産業観光など、燕市の観光コンテンツを世界に情報発信します。

◆多言語化対応Webサイト・

パンフレットの作成



【担当課】 商工振興課

観光交流拠点の整備

新 千眼堂吊橋修繕事業

【予算額】 25,000千円

【事業期間】 平成29年度

観光スポット国上の朝日山展望台と五合庵を結ぶ千眼堂吊橋の修繕工事を実施します。

◆踏板等の修繕工事

【担当課】 商工振興課



産業史料館の活性化

新 産業史料館リノベーション事業

【予算額】 38,161千円

【事業期間】 平成29年度～30年度

産業観光の拠点施設として体験機能を強化するなど、施設のリノベーションを実施します。

◆設計業務委託(展示設計・施設設計)

【担当課】 商工振興課

拡 産業史料館企画展開催事業 (史料館活性化計画)

【予算額】 5,503千円

入館者の増加を図るための各種取り組みを実施します。

◆企画展の開催(年10回)

◆ものづくり体験機能の拡充

◆各種イベントの開催

【担当課】 商工振興課



○ 県央大橋西詰周辺地域整備事業

【予算額】 46,615千円

【事業期間】 平成26年度～

本市の玄関口である県央大橋西詰周辺地域を観光交流拠点として整備します。

◆開発用地の造成工事

【担当課】 企画財政課



3-(2)-①都市交流・広域連携の推進 (3)-①イメージアップ・ふるさと応援-27-

【ねらい】

- ①交流・応援(燕)人口の拡大を図るため、燕市の魅力を全国に発信する取組を展開します。
- ②県内外の自治体と交流・連携し、地域活性化のための特色ある取組の実施や共通の課題解決を目指します。

燕市のファンづくり

臨 燕市ガイドブック作成事業

【予算額】1,000千円

シティプロモーションのツールとして活用し、全国に燕市の魅力をアピールするため、新しいガイドブックを作成します。



【担当課】地域振興課

○ イメージアップ燕推進事業

【予算額】5,774千円

東京ヤクルトスワローズや燕市PR大使との連携により、燕市の自然・食・産業などの魅力を広く発信し市産品の販路拡大や地域活性化を推進します。

- ◆神宮球場での燕市Day開催
- ◆スワローズファンとの交流
- ◆つば九郎米等のコラボ商品の販売促進
- ◆燕市の知名度に関するインターネット調査の実施



【担当課】地域振興課

拡 ふるさと燕応援事業

【予算額】371,237千円

ふるさと燕応援寄附金のお礼の品として魅力的な地場産品を贈呈することにより、燕市を全国にPRし交流・応援(燕)人口の拡大を目指すとともに、市産品の需要拡大を図ります。

- ◆お礼の品パンフレットの作成
- ◆効果的な広告媒体の活用
- ◆お礼の品の充実
- ◆寄附者に対し観光情報等の発信

【担当課】総務課



広域連携の推進

新 新潟広域都市圏推進事業

【予算額】1,310千円

連携中枢都市圏の形成に係る新潟市との協約に基づき、生活の利便性向上や圏域外からの誘客を図ります。

【担当課】企画財政課

○ 燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン推進事業

【予算額】107千円

燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョンに基づき、医療・広域観光・地域公共交通等の分野で連携事業を推進します。

【担当課】企画財政課

都市間交流の推進

○ 都市交流連携事業

【予算額】1,078千円

他の自治体と防災・観光・産業・教育等の分野での交流を通じて、相互の地域振興と共通の課題解決に取り組みます。

- ◆南魚沼市、南相馬市、南陽市などとの交流推進

【担当課】地域振興課

○ スワローズカップ少年野球交流事業

【予算額】3,156千円

東京ヤクルトスワローズに関係する自治体間で、少年野球を通じた交流・連携を図ります。

- ◆松山市、浦添市、西都市との交流推進



【担当課】社会教育課

4-(1)-① 災害に強いまちづくり、② 防犯・消費者保護対策の推進 -28-

【ねらい】

- ①防災情報の普及啓発に努めるとともに、堤防の改良を行うなど水害に強いまちを目指します。
- ②地域に根ざした防災活動を充実するために、地域の防災力向上とともに地域が一体となった防災教育を推進します。
- ③犯罪のない安全・安心なまちづくりの実現と消費者トラブルへの対応の充実を図ります。

防災情報の普及啓発

臨 洪水・土砂災害ハザードマップ作成事業

【予算額】7,200千円

国が示した新しい想定に基づき、洪水・土砂災害ハザードマップを作成し、全世帯に配布します。

【担当課】防災課

水害に対する防災力強化

新 新堤防構築事業 (大曲62号線他道路改良事業)

【予算額】41,000千円

【事業期間】平成28～34年度

河川区域内の市道である大曲62、63号線について新堤防を兼ねた道路とし、現在は河川区域にある施設の洪水被害を防止するとともに、利便性の向上を図ります。

◆用地測量 ◆詳細設計(L=1,460m)

【担当課】土木課



○ 須頃郷排水対策事業

【予算額】211,000千円

【事業期間】平成24～29年度

平成29年度での事業完了を目指して、排水路の断面拡幅等の整備を行います。

【担当課】都市計画課

地域に根ざした防災活動

拡 防災教育充実事業

【予算額】120千円

小中学校・地域住民・行政が連携した防災教育を推進し、児童・生徒からの継続した防災意識の醸成を図ります。

◆小中学校の防災教育を支援し、地域の実情に合った防災教育のプログラムづくりを推進

◆防災教育に携わる教職員のスキルアップ

◆親子防災バスツアー

◆防災キャンプ



【担当課】防災課・学校教育課

※親子防災バスツアーと防災キャンプは防災リーダー養成講座と連携して実施します。

○ 地域防災組織

育成支援事業

【予算額】1,798千円

自主防災組織や自治会・まちづくり協議会の防災活動を支援し、地域での防災の取組の活性化や、意識の向上を図り、地域防災力を高めます。

◆地域防災活動の経費補助

◆防災リーダー養成講座



【担当課】防災課

犯罪の抑止対策

○ 防犯カメラ設置補助事業

【予算額】1,200千円

犯罪の抑止を図るため、各地区の防犯組合が設置する防犯カメラの費用の一部を助成します。

【担当課】総務課

安全・安心な消費生活

○ 消費生活相談窓口事業

【予算額】2,719千円

消費生活相談窓口体制の充実と、消費者トラブル防止の啓発を行います。

【担当課】市民課

4-(1)-③ 交通安全の推進、④ 公共交通の整備

-29-

【ねらい】

- ①高齢者の関与する交通事故を未然に防ぐため、実効性のある対策を重点的に実施します。
- ②公共交通に関する利用状況や市民ニーズを把握し、効率的で利便性の高い公共交通環境を提供します。

交通安全対策の推進

○ 交通安全指導強化事業

【予算額】 11,200千円

交通安全協会や警察との連携により交通安全教室や街頭指導の充実、交通安全意識の啓発に努めます。



【担当課】 生活環境課

○ 高齢者運転免許自主返納支援事業

【予算額】 2,000千円

高齢者の加害事故防止対策の一環として、運転免許の自主返納をされた方に対し、バスやタクシー等の利用券を交付します。

◆ 対 象

免許を自主返納する満65歳以上の市民

◆ 内 容

循環バス、おでかけきららん号、タクシーいずれかの利用券を組み合わせ合計1万円分進呈

【担当課】 生活環境課

市営公共交通等の運行

○ 循環バス運行事業 (スワロー号・やひこ号)

【予算額】 12,863千円

燕市内を運行する「スワロー号」及び定住自立圏形成協定に基づいて、弥彦村との間を運行する「やひこ号」の両バス路線を運行します。

臨 循環バス休日運行社会実験事業 (スワロー号)

【予算額】 924千円

市民から要望が寄せられている、循環バス「スワロー号」の休日運行について社会実験を実施し、利用状況の把握・分析を行います。

◆ 期間 平成29年4月、5月の2か月間
(土曜・日曜・祝日)

◆ 便数 平日と同じ10便(5往復)



【担当課】 生活環境課

○ 予約制乗合ワゴン車運行事業 (おでかけきららん号)

【予算額】 35,900千円

定住自立圏形成協定に基づき弥彦村と共同で「おでかけきららん号」を運行します。



【担当課】 生活環境課

民間バス路線の運行支援

○ 民間バス路線運行補助事業

【予算額】 24,111千円

市民の日常生活交通手段を確保するため、路線バス事業者に対して運行費補助を行います。

【担当課】 生活環境課

4-(1)-⑤ 快適な環境の確保

-30-

【ねらい】

- ①市民一人ひとりの環境保全への意識を高め、学び、体験する機会を創出し、環境美化活動への参加を促進します。
- ②資源循環型社会の構築に向けた啓発活動を積極的に展開し、事業所・家庭での適正処理の浸透に努めます。

再資源化と適正処理の推進

資源回収・子育て支援連携事業

新 福眼BOOK事業

【予算額】313千円

家庭から出される再使用できる古着・靴・かばん等を拠点回収し、恵まれない国の人たちの支援につなげるとともに、その売却益を市内の保育園等の図書の購入費に活用します。



○ カンカンBOOK事業

【予算額】100千円

市内の事業所からアルミ缶及びスチール缶を寄付していただき、資源ごみの再資源化を促進するとともに、その売却益を市内の保育園等の図書の購入費に活用します。

【担当課】生活環境課・子育て支援課

資源回収・障がい者就労支援連携事業

○ ペットボトルリサイクル推進事業

【予算額】3,615千円

資源の有効利用のため回収したペットボトルの異物除去作業等を障がい者施設に委託することで障がい者の就労支援を図ります。



○ 小型家電リサイクル推進事業

【予算額】325千円

小型家電製品に含まれる有用金属の再資源化と不燃ごみの減量化を図るため、障がい者施設と連携して、使用済小型家電製品の分別処理を行います。



【担当課】生活環境課

環境美化活動の推進

○ 環境美化推進イベント事業

【予算額】145千円

家族やグループなどで楽しみながら環境美化に貢献するイベントを開催します。

- ◆クリーンアップ選手権大会
- ◆クリーンデー燕
- ◆JTひろえば街が好きになる運動



【担当課】生活環境課

○ つばめエコキッズ探検隊プロジェクト

【予算額】46千円

子どもたちの探検隊を組織し、参加・体験を通じて環境問題について学びます。



【担当課】生活環境課

4-(2)-① まちなか居住と空き家等対策の推進

-31-

【ねらい】

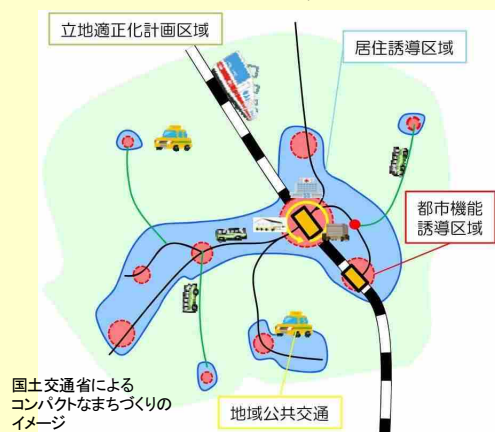
- ①快適な生活環境と持続可能な都市経営を実現するため、コンパクトなまちづくりに取り組みます。
- ②市民や関係団体と連携して、地域の実情等に応じた実効性のある空き家等対策を総合的かつ計画的に推進します。

都市・居住機能の集約

臨 立地適正化計画策定事業

【予算額】 8,230千円

【事業期間】 平成28～29年度
公共交通ネットワークの構築と連携を図りながら、生活に必要な福祉・医療・商業等の都市機能や居住機能の立地誘導に係る取組を推進するための計画を策定します。



【担当課】 都市計画課

空き家・空き地対策

○ 空き家等対策連絡協議会事業

【予算額】 152千円

市内各分野の関係団体と連絡協議会を組織し、空き家等対策を推進するため、課題や情報を共有するとともに、総合相談会やセミナーなどを開催します。

【担当課】 都市計画課

○ 空き家等実態調査事業

【予算額】 700千円

特定空き家等の現状を把握するため、専門的知識を有する建築士会に依頼し、構造の不朽・破損の程度など条例の基準に基づいた実態調査を行います。

【担当課】 都市計画課

拡 空き家・空き地活用バンク事業

【予算額】 7,000千円

空き家・空き地活用バンクを設置し、市のウェブサイトで物件を紹介するとともに、解体撤去費等必要な経費に対して助成します。

◆解体撤去費助成

助成率 解体費用の1/2以内
助成金額 上限50万円

◆家財処分費助成

助成率 処分費の1/2以内
助成金額 上限10万円

◆改修費助成

助成率 工事費用の1/3以内
助成金額 上限30万円

【担当課】 都市計画課

拡 空き家等活用対策事業

【予算額】 1,658千円

空き家等の有効活用による快適な生活環境の維持・保全を図るため、空き家等の再生に対する支援や良質な住宅ストックとしての再利用を推進します。

◆空き家再生のための講習会の開催

◆特定空き家等の解消と跡地の活用

【担当課】 都市計画課

4-(2)-② 親しみのある公園づくり

-32-

【ねらい】

- ①遊具の新設・更新や施設の改修などを行い、市民の憩いの場・活動の場となるよう公園機能の充実を図ります。
- ②市民や事業者との協働による施設整備・維持管理を促進し、親しみのもてる公園づくりに努めます。

公園施設の充実

● 燕市交通公園整備事業

【予算額】 58,212千円

【事業期間】 平成29年度

公園施設長寿命化計画に基づき、交通公園における経年劣化対策や最新の安全基準の適合化を進めるとともに、さらににぎわいの場となるよう整備します。

- ◆大型複合遊具の設置
- ◆連絡橋、シェルターの更新

【担当課】 都市計画課



● 吉田ふれあい広場整備事業

【予算額】 32,230千円

【事業期間】 平成29年度

高齢者や障がい者でも安全・安心・快適に利用できるよう公園施設のバリアフリー化を実施します。

- ◆園路舗装

【担当課】 都市計画課



利用者ととともに築く公園づくり

○ 「想いを形に」かがやきベンチ事業

【予算額】 180千円

広く市民等からベンチの寄附を募り、市民の共有財産である公園に愛着を持っていただくとともに、公園施設の充実を図ります。

- ◆寄贈者名とメッセージを記念プレートに刻銘

【担当課】 都市計画課



● 国上健康の森公園整備事業

【予算額】 766千円

【事業期間】 平成28～29年度

安全で安心して施設が利用されるよう足踏み式ゴーカートを計画的に更新するとともに、劣化した木道を改修します。

- ◆足踏み式カートの入れ替え更新
- ◆木道改修

【担当課】 都市計画課



○ 大河津分水さくら公園整備事業

【予算額】 30,000千円

【事業期間】 平成27～30年度

大河津分水さくら公園が地域住民や観光客の交流拠点となるよう、大河津分水路周辺地域の自然環境などを活かした公園づくりを計画的に整備します。

- ◆多目的広場の整備
- ◆公園植栽工事

【担当課】 都市計画課



4-(2)-③ 人にやさしい道路環境の整備

-33-

【ねらい】

- ①歩行者や通行車両にとって安全・安心で快適な道路環境の整備を行います。
- ②老朽化した道路施設の整備・修繕を計画的に行い、適正な維持管理を行います。
- ③幹線道路である国道整備について、事業促進のため積極的な要望活動を行います。

安全・安心な道路環境の整備

● 広域6号線歩道整備事業

【予算額】 31,000千円

【事業期間】 平成28～29年度

歩行者の安全確保を図るため、国道289号とJR西燕駅を結ぶ広域6号線の歩道を整備します。

◆歩道整備工事等(L=50m)

○ 灰方幹線他歩道整備事業

【予算額】 50,000千円

【事業期間】 平成26～30年度

主要地方道新潟燕線へのアクセス道路として交通量が多く道幅が狭いため、通学生徒などの安全を確保するため歩道を整備します。

◆歩道整備工事(L=180m)



【担当課】 土木課

● 廿六木中央通線踏切拡幅歩道整備事業

【予算額】 180,000千円

【事業期間】 平成28～37年度

歩行者の安全確保と通行車両の利便性向上を図るため、踏切を拡幅し、歩道を整備します。

◆踏切拡幅歩道整備(L=20m)



● 寺郷屋灰方線自歩道整備事業

【予算額】 21,000千円

【事業期間】 平成28～31年度

歩行者等の安全確保を図るため、交通量が多い主要地方道新潟燕線の代替え通学路として新潟交通電鉄線跡地を利用し自歩道を整備します。

◆自歩道整備工事(L=350m)

施設の長寿命化

○ 橋梁定期点検事業

【予算額】 32,000千円

国の橋梁等の点検に関するガイドラインに基づき、市内全域の橋梁点検を近接目視により行います。

【担当課】 土木課

新たな幹線道路整備への取組

● 国道116号吉田バイパス整備促進協議会事業

【予算額】 240千円

国道116号改良整備促進期成同盟会と連携し、早期事業化に向けて国・県に強く要望していきます。

【担当課】 都市計画課

既存施設の適正管理

● 側溝修繕事業

【予算額】 103,000千円

【事業期間】 平成27～31年度

経年劣化したコンクリート側溝を既製品U型側溝へ改修し、歩行者の安全を確保します。

◆燕地区(L=1,000m)

◆吉田地区(L=600m)

◆分水地区(L=400m)



○ 下水路整備事業

【予算額】 100,000千円

排水路等の整備工事を実施し、市街地の環境整備と排水対策の強化を図ります。

◆土水路等の改修工事

○ 道路維持修繕事業

【予算額】 80,000千円

経年劣化した道路舗装や道路防護柵を改修し、通行の安全を確保します。



【担当課】 土木課

4-(2)-④ 安全・安心・おいしい水道水の供給 ⑤ 適正な汚水処理の推進-34-

【ねらい】

- ①水道事業基本計画に基づき、浄水場施設の再構築と老朽化した水道施設の更新を計画的に推進します。
- ②計画的な施設整備と早期接続を促す取組により下水道普及率・接続率を向上させるとともに、下水道事業の経営健全化に努めます。

持続可能な水道水の安定供給

新 浄水場施設再構築事業

【予算額】 93,922千円

【事業期間】 平成29～36年度

平成28年度に策定した水道事業基本計画に基づき、現在の3地区の浄水場を廃止し、新たに統合浄水場を建設するための基本設計などに着手します。



- ◆平成29年度 基本設計、用地測量等
- ◆統合浄水場の供用開始目標 平成37年度
- ◆統合浄水場建設候補地 分水笈ヶ島地内

【担当課】 経営企画課・施設課

○ 石綿セメント管更新事業

【予算額】 508,084千円

浄水場の建設を見据えて平成35年度までに石綿セメント管の完全廃止を目指した更新を計画的に推進します。

- ◆更新延長
L=7,533m(前年度比 6%増)

【担当課】 施設課

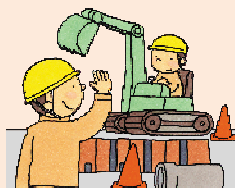
下水道の普及と早期接続

○ 公共下水道整備（未普及対策）事業

【予算額】 829,200千円

現在策定中の汚水処理施設整備構想を見据え、下水道施設の計画的・効率的な整備を実施します。

【担当課】 下水道課



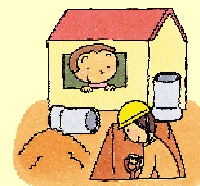
○ 公共下水道早期接続促進事業

【予算額】 5,910千円

下水道接続率向上のため、供用開始後、2年以内に接続した方（新築を除く）に早期接続報奨金を交付します。

- ◆報奨金額
1年以内に接続 3万円
2年以内に接続 2万円

【担当課】 下水道課



新 マンホールカード作成事業

【予算額】 38千円

下水道への興味・関心を高め、接続率の向上につなげるため、マンホールカードを作成します。

【担当課】 下水道課



下水道施設の適正な維持管理

○ 本町排水区管路施設改築更新（長寿命化）事業

【予算額】 269,000千円

【事業期間】 平成26～31年度

本町排水区における下水道管の老朽化による機能障害を防止するため、幹線下水道管の改修を行います。

【担当課】 下水道課

○ 下水道終末処理場施設改築更新（長寿命化）事業

【予算額】 331,500千円

【事業期間】 平成24～32年度

良好な放流水質の確保と効率的な施設運営を図るため、長寿命化計画に基づき下水道終末処理場の改築更新を行います。

【担当課】 下水道課

【ねらい】

- ①公共施設等を適切に管理運用することで、維持更新に係る経費を縮減・平準化し、財政負担の軽減を図ります。
- ②業務の効率化と質の向上を図るため、市役所業務改善を進めます。
- ③健全な財政を維持するため、経常経費の削減に努めるとともに、新たな会計制度を取り入れます。

業務改革

【拡】ペーパーレス会議推進事業

【予算額】3,402千円

タブレット型端末を利用したペーパーレス会議システムを、庁内会議に導入し、紙使用量の削減だけでなく、作業時間の削減や会議の効率化を図ります。



【担当課】総務課

○業務改善推進事業

【予算額】ゼロ予算

公務に携わる者としての資質や意識をより一層高めるとともに、基礎的な事務処理能力を向上させ、効率化はもとより、業務の質についても向上を図ります。

- ◆OJTを始めとした研修体系の見直しと強化
- ◆事務処理マニュアルの改善
- ◆業務内容の再整理



【担当課】総務課

公的資産のマネジメント

公営住宅のストックマネジメント

○公営住宅ストック総合改善事業

【予算額】90,440千円

【事業期間】平成28～37年度

公共施設等総合管理計画に基づき、経年劣化により改修等が必要な市営住宅の修繕工事を行い、施設の長寿命化を図ります。

◆市営吉田旭町団地外装改修事業

○公営住宅跡地利活用事業

【予算額】7,242千円

【事業期間】平成25～34年度

耐用年数が経過し、入居者が全て退去した市営住宅を解体し、市有地の有効活用を図ります。

【担当課】営繕建築課

【拡】公共施設予防保全事業

【予算額】33,500千円

公共施設の長寿命化を図るため、施設（建築物）の劣化を早期に発見し、事故や大規模補修に至る前の軽微な段階で補修します。

◆建築構造体の保全

◆安全設備の保全

【担当課】営繕建築課



経常経費の節減

【新】窓口配布用封筒広告導入事業

【予算額】ゼロ予算

広告主を自ら募集し、広告入り封筒を作製し、無償提供していただける事業者を募集することで、封筒作成にかかる経費を削減します。

【担当課】市民課

新たな会計制度の導入

○地方公営企業法適用事業

【予算額】11,800千円

【事業期間】平成28～31年度

地方公営企業法を適用した公営企業会計を導入するため、固定資産台帳の整備を行います。

◆資産調査・評価業務の実施

【担当課】下水道課



○地方公会計整備事業

【予算額】6,680千円

統一基準による地方公会計制度に基づく財務書類の作成、および関連システムの運用を開始します。

【担当課】用地管財課・企画財政課